

交流室だより



♪ 第4号 ♪ 2015. 5

発行：東村山市市民部市民相談・交流課
TEL042-393-5111 (内) 1140

★★ 女性の再就職 ★★

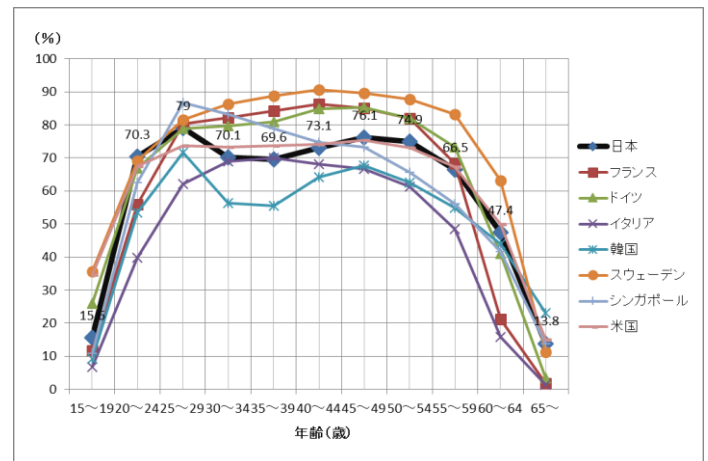
日本の女性の生産年齢人口における労働力率を、年齢階級別に見ると、55歳以上を除いて、どの年齢階級においてもおおむね主要国と比べて水準が高いとは言えません。特に、30歳代では落ち込みが見られ、いわゆる「M字カーブ」を描いています。これは、結婚・出産期にあたる年代にいったん離職し、育児が落ち着いた時期に再び就職するためと考えられており、日本で仕事と子育てを両立するのが難しい状況をあらわしていると言えます。

実際、育児が落ち着いた時期に働こうと思っても、就職していた経験がある人でさえ、難しいと思ってしまうことが多いそうです。また、就職経験が無い人は、それ以上に難しいと思ってしまうそうです。しかし、正社員経験がない方でも、アルバイトなどの経験で、何かしら身につけているものがあるはず。子育て等で長いブランクがあっても、社会とはつながっているもので、ママ友やPTA活動などの経験から、自分の得意な分野をどう仕事にいかせるかを考えてみるといいでしょう。家事・子育て・地域活動・ボランティアなども、立派なキャリアです。

たしかに、そう簡単に最初から正社員として採用してもらえないかもしれませんが、最初は短期パートなどから始めて、ステップアップしていく方法もあります。単に転職を繰り返すだけにならないよう、スキルを積み重ねていける職を経験しながら、計画性を持って正社員を目指すといいでしょう。

働きたくても就職先がないのでは・・・と不安を感じる方もいますが、正社員以外の雇用形態の求人は増え続けているようです。人件費を安く抑える雇用形態となってしまうのが問題となっていますが、本来は、働き方の選択肢が増えるというメリットもあるものです。子どもの成長に合わせて働き方を柔軟に変えていくこともできます。

そろそろ働きたいと思っている女性にとって、再就職に必要な情報や知識を得ることは、とても大切です。そこで、仕事と子育ての両立を目指す方専門の職業相談・支援を行っている、マザーズハローワーク立川で、お話を聞いてきましたので、ご紹介したいと思います。



(出典：内閣府「平成26年版男女共同参画白書」)

マザーズハローワーク立川

どんなところ？

平成 27 年 4 月 20 日にマザーズハローワーク立川がオープンしました。多摩地区初のマザーズハローワークです。安全監視員のいるキッズスペースもあり、子ども連れでも利用しやすい明るく広いスペースを確保してあります。毎月、各種就職支援セミナーを開催したり、保育情報などの子育て関連情報も提供しています。マザーズハローワーク立川では、個別担当制も行っているため、働き方や条件に制約が多くなりがちな子育て中の方でも、何度も同じ話をする必要がなく、効率よく相談することができます。初回は、思い立ったときに是非、お気軽にのぞいてみてください！

※担当者以外の相談でもよければ、予約なしの急な相談にも対応できます。

施設のご案内

●マザーズハローワーク立川

■ご利用時間

月曜～金曜 10:00～18:00

(土・日・祝日はお休みです)

■〒190-0012 東京都立川市曙町 2-7-16

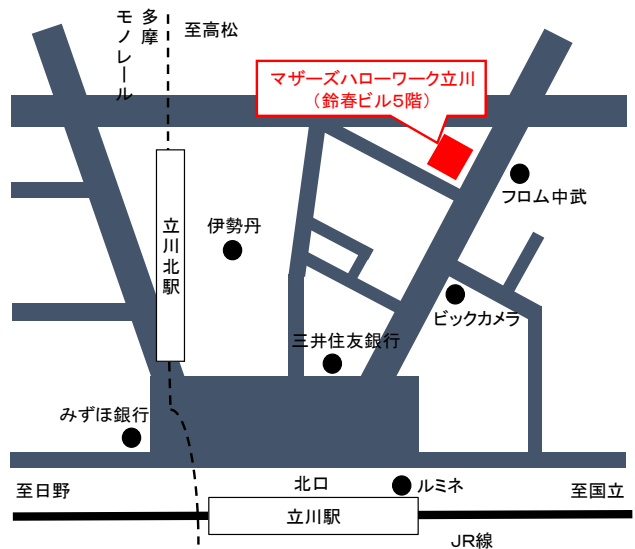
鈴春ビル 5 階

TEL 042-529-7465

FAX 042-524-1088

※失業給付等、雇用保険関係業務は

行っておりません※



利用状況

平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月末）のマザーズハローワーク立川の前身であるハローワーク立川マザーズコーナー利用状況を見ると、1,287 名の利用者があり、そのうちの 468 名が個別担当制に移行しました。そのうちの 342 名がマザーズコーナーからの紹介で就職することができ、71 名が相談を通して、書類の書き方などの指導を受け自力で就職することができました。個別担当制に移行しなかった方の多くは、すぐに就職を希望しているわけではない方です。出産・育児後の働き方や、保育情報について、あらかじめ知り、将来に備えるという利用の仕方をしています。就職を希望して、個別担当制に移行した方の約 9 割が、有期雇用などに条件を広げた方も含め就職しているというのは、いずれ働きたいと思っている方にとって、勇気づけられる実績だと感じました。

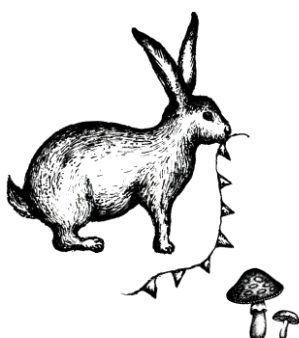
求人について

マザーズハローワーク立川では、一般求人の他に、マザーズ専用求人も紹介しています。ただし、専用求人の数は限られているのが実情です。比較的、大企業の多い23区内には専用求人がありますが、マザーズハローワーク立川の利用者にとって、通勤は大きなネックになるため、多摩地区から通うのは難しいケースが多いようです。しかし、一般求人の中にも、勤務時間をずらす、休みが取りやすい、急な残業がないなどの働き方の配慮がされ、子育て中の方に理解のある事業所も多くあります。



適職の見つけ方

やりたいことや自身の経験からできることを伝えてもらうことで、担当者は専門家として、いろいろな職種の紹介ができます。また、賃金・仕事の内容・通勤時間など、どれを優先させれば長く続けられるか、どの内容だったら我慢できるかなど、条件を緩和しながら探してくれます。個別担当制にしていると、その方の条件がわかっているから、日々来る求人の中から、こういうのがあります、と提示することができるメリットがあります。



Q. 持っている有利な資格はありますか？
A. 福祉系（保育士、介護、ヘルパー）は資格があると強いです。ただ、福祉系は人手不足の職種でもあるので、入ってから覚えてくればいい、という企業もあります。一般事務の求人が多いので、資格というよりは、Word、Excelが使えるのが前提です。むしろ、コミュニケーション能力や人間関係をうまくやれるか、といったところを見られるのではないのでしょうか。

応募書類の書き方と面接

今は、正社員でなくても書類選考があるのが普通で、それに通らないと、選考のスタートラインにも立てません。応募書類の書き方には、ルールやポイントがあるので、そこをおさえたものを作ります。履歴書の他に、職務経歴書をつけることによって、経歴だけでなく、経験やスキルを含めて判断してもらえるので、可能性が広がります。担当者にチェックしてもらうこともできるので、しっかり準備して応募しましょう。

面接では、一般的な社会人としてのマナーである入室の仕方、挨拶の仕方、話し方を見られます。緊張した中でも、必要なことを会話として成立させるコミュニケーション能力が求められます。子育て中の方には、子どもの預け先や、発熱した時にどうするかといったことを聞かれることも多いです。最初から「できない」と答えるのではなく、一時保育やファミリーサポート制度の活用、実家の協力など、預け先の可能性をいくつか示すことができると、印象もずいぶん違うと思います。担当者による想定問答などで練習して自信をつけておくと、緊張も和らぐのではないのでしょうか。



Q. どのような職種の求人が多いですか？

A. 事務系が一番多いです。ついで、サービス系が多いです。また、事務系の職種を探している人も一番多いです。

Q. 求人の多い時期はありますか？

A. 4月採用にむけて、1月～2月に選考する企業が多いです。

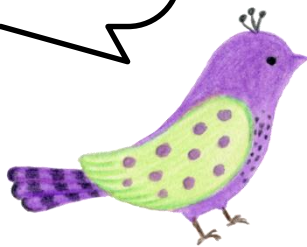


Q. 予約の取りやすさは？

A. 午前中の予約枠は人気が高いです。午後遅い予約枠は、比較的当日でも取りやすいです。

Q. どのような用意をして行けばいいの？

A. 特に持ち物は不要です。ただし、経歴やスキルを記入できるよう、大まかな情報をメモ程度か頭の中で整理してくるといいかもしれません。



働きたいと思っても、何から始めたらいいのかわからない方も多いと思います。まずはお気軽に、マザーズハローワーク立川の相談窓口に行ってみてはいかがでしょうか？交流室にも、簡単な資料を置いてありますので、興味のある方はお寄りください。

ひとつ「働き方」を変えてみよう！



カエル！ ジャパン
Change! JPN

東村山市は、内閣府「カエル！ジャパン」

キャンペーンに参加しています。

★★ 女性のための悩み相談（無料カウンセリング）の実施日が増えました！ ★★

月に2回だった夜間相談日が、3回に増えました。お仕事などで、昼間に都合のつかない方も、是非ご利用ください。



相談日

- 毎週火曜・土曜日（祝日・年末年始除く） 10時～15時（12時～13時除く）
- 毎月第1・第4火曜日、第3金曜日（祝日の場合は要問合せ） 15時～19時
申込みは電話または直接窓口まで！（予約優先です）